問題１、下記の仕訳を示せ
１、決算に伴い消費税の決算整理を行う。仮受消費税20,000、仮払消費税15,000であった。
２、決算に伴い、当期の法人税等は50,000円と確定した。
３、上記の法人税を当座預金から支払った。
４、株主総会にて繰越利益剰余金を原資として配当20,000円、利益準備金2,000を積み立てると確定した。
５、上記の配当を当座預金から支払った。

解答用紙

問題	借方	金額		貸方	金額
①					
②					
③					
④					
⑤					

問題２、下記の仕訳を示せ（利息は月割りすること。）
１、当社は当期の11月1日に120,000円の債権を購入した。決算に伴い利息について必要な処理を行う。（利息１%、利払い日：毎年7月31日）
２、当社は銀行から600,000円の借入れを行っている。決算に伴い利息について必要な処理を行う。（利息２%、利払い日：毎年11月３０日）
３、当社は1年分の保険料40,000円を当期の6月30日に支払った。決算に伴い必要な処理を行う。
４、当社は当期の1月31日に一年分の土地代60,000円を受け取った。決算に伴い必要な処理を行う。

解答用紙

問題	借方	金額		貸方	金額
①					
②					
③					
④					

問題３、下記の仕訳を示せ
１、決算において、売上勘定の残高を損益に振り替えた。当期の売上は150,000円であり、売上戻りは15,000円であった。
２、決算において、支払利息勘定の残高を損益に振り替えた。当期の支払利息は10,000円であり、未払利息は500円であった。
３、損益勘定を繰越利益剰余金に振り替えた。当期の収益のは300,000円であり、費用の合計は180,000円であった。

解答用紙

問題	借方	金額		貸方	金額
①					
②					
③					

問題４、精算表を完成させよ。

精　算　表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現　　金	50,000							
現金過不足	2,000							
当座預金	200,000							
売掛金	30,000							
繰越商品	15,000							
仮払消費税	30,000							
貸付金	50,000							
建　　物	200,000							
買掛金		30,000						
仮受消費税		50,000						
借入金		120,000						
減価償却累計額		18,000						
資本金		100,000						
繰越利益剰余金		120,000						
売　　上		300,000						
受取手数料		6,000						
受取地代		12,000						
仕　　入	150,000							
給　　料	11,000							
通信費	5,000							
支払保険料	10,000							
支払利息	3,000							
	756,000	756,000						
雑（　）								
貯蔵品								
未払利息								
未収利息								
減価償却費								
（　）地代								
未払消費税								
当期純利益								

[決算整理事項]
①現金過不足の内500円については買掛金の支払い記入漏れであり、残額は不明である。
②期末商品棚卸高は20,000円であった。
③通信費の内1,500円は未使用であった。
④借入金について当期の8月1日に借入を受けた。決算に伴い未払処理を行う。（利息１%、利払い日7月31日）
⑤貸付金については当期の2月1日に貸し付けたものであり、決算に伴い未収処理を行う。（利息３%　利払い日8月31日）
⑥建物について減価償却を行う。（対応年数10年、残存価格１０%）
⑦受取地代については、向こう1年分を当期の11月1日に受けたものである。
⑧消費税について決算整理を行う。